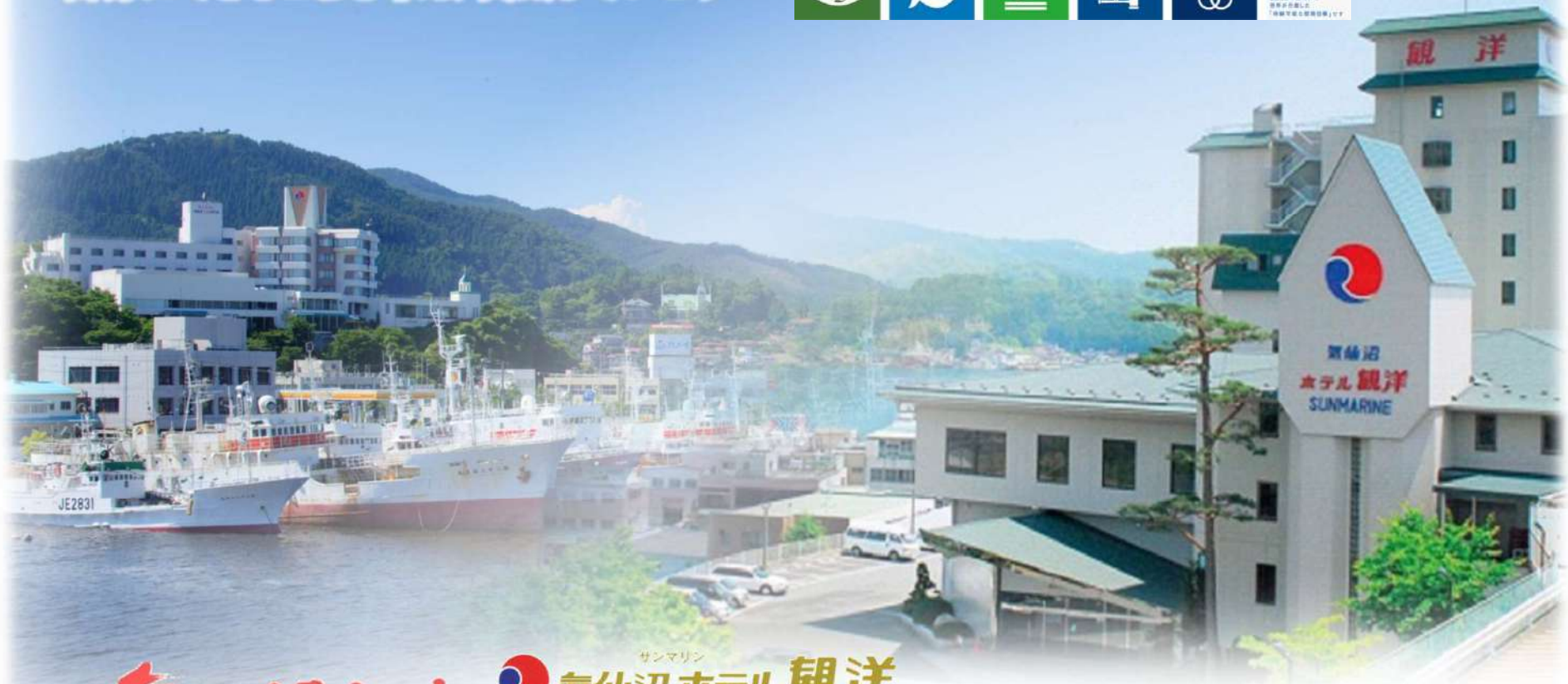


教育旅行用 総合資料

～地球規模の課題を自らの問題と捉え、
自分にできることを考え、実践していこう～



サンマリン
気仙沼ホテル観洋
気仙沼プラザホテル



株式会社 阿部長商店 / 代表取締役

阿部 泰浩

Abe yasuhiro

三陸の海の恵みと リアスの景観を 世界ブランドへ。

国内有数の豊かな水産資源と、風光明媚な自然という観光資源を生かし、三陸の企業だからこそできる事業モデルを構築していきたいと考えています。その一環として、ABECHOグループの水産と観光の両事業が一体となって取り組む自社ブランドを、2011年から展開しています。鮮度のよい三陸の魚介類を活用した、新商品の開発から生産、販売まで自社で管理し、安全性にこだわって全国にお届けしています。お客さまから寄せられる喜びの声が、わたしたちの仕事への誇りです。今後は、さらに漁業、加工業、流通業の連携を強め、先進的な事業へと邁進していきます。三陸が、食を楽しむ旅の目的地となるように、働きたくなる土地となるように。世界に通じる三陸ブランドを創出してまいります。



漁業者は新事業を共に考える仲間。共に準備を怠りません。社員には、少し余裕のあるくらいにチャンスをたくさん与え、思い存分に力を発揮する機会を設ける。魚べること好きで、国内外の出張先で食すのは決まって魚料理。その経験から得た知識が、新たな商品開発に生かされることも。

会社概要

株式会社 阿部長商店

設立	1968年(創業1961年)
事業内容	水産事業・観光事業・物販事業・飲食事業・不動産事業
年商	142億円(2016年実績)
本社所在地	〒988-0025 宮城県気仙沼市内の蔵2丁目133番地3
代表者	阿部 泰浩

ABECHO

株式会社 阿部長商店

<http://www.abecho.co.jp/>

本社

コーポレート本部

〒988-0025
宮城県気仙沼市内の蔵2丁目133番地3
TEL.0226(22)1661
FAX.0226(24)3330

経営企画室

〒988-0025
宮城県気仙沼市内の蔵2丁目133番地3
TEL.0226(22)6666
FAX.0226(29)6226

水産事業部

海産資源を有効活用
真剣にものづくり
真心をこめて届けます

気仙沼食品

〒988-0031 宮城県気仙沼市瀬貝町18-1
TEL.0226(23)2922 FAX.0226(23)2929

気仙沼フレッシュ

〒988-0036 宮城県気仙沼市井天町2-83-1
TEL.0226(23)1244 FAX.0226(23)1366

南三陸食品

〒986-0725 宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田150番地116
TEL.0226(46)5885 FAX.0226(46)6300

大船渡食品

〒022-0002 岩手県大船渡市大船渡町字欠ノ下向1番13
TEL.0192(26)6533 FAX.0192(26)4611

渡冷

〒986-0022 宮城県黒石町市魚町1丁目10番7
TEL.0225(98)7982 FAX.0225(98)7972

関連会社

株式会社 阿部長マーメイド食品

東京支店
〒114-0002 東京都北区王子1-10-13 旺栄ビル8F
TEL.03(6903)3228 FAX.03(6903)3229

仙台営業所

〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3-15-3 グランディール泉中央4F
TEL.022(341)1858 FAX.022(341)1857

株式会社 サンフーズ気仙沼

〒988-0103 宮城県気仙沼市赤岩港121番
TEL.0226(22)5088 FAX.0226(23)5568

阿部長商貿(大連) 有限公司

遼寧省大連市中山区友好路158号 友好ビル1012室

観光事業部

未来のリゾートを見つめて

南三陸ホテル観洋

〒986-0766 宮城県本吉郡南三陸町志津川字黒崎99番地17
TEL.0226(46)2442 FAX.0226(46)6200
<http://www.mkanyo.jp/>

サンマリン気仙沼ホテル観洋

〒988-0021 宮城県気仙沼市港町4番19号
TEL.0226(24)1200 FAX.0226(22)6665
<http://www.kkanyo.jp/>

気仙沼ブラザホテル

〒988-0014 宮城県気仙沼市柏崎1番1号
TEL.0226(23)1313 FAX.0226(22)3398
<http://www.pkanyo.jp/>

南三陸プラザ

〒986-0728 宮城県本吉郡南三陸町志津川字天王山135-1
TEL.0226(46)4822 FAX.0226(46)4896
<http://www.m-plaza.co.jp/>

気仙沼お魚いちば

〒988-0021 宮城県気仙沼市港町2-13
TEL.0226(29)6233 FAX.0226(29)6226
<http://osakana-ichiba.net/>

ホテル観洋海の市

〒988-0037 宮城県気仙沼市魚市場前7-13
TEL.0226(24)7030 FAX.0226(24)7031
<http://www.mermaid-st.com/>

株式会社 泰興商事

大船渡化製フィッシュミール工場
〒022-0002 岩手県大船渡市大船渡町字欠ノ下向1番134
TEL.0192(47)5307 FAX.0192(47)5308

株式会社 まるいち製氷

〒988-0031 宮城県気仙沼市瀬貝町2-24-1
TEL.0226(25)7463 FAX.0226(25)7464

志津川湾観光船 株式会社

〒986-0742 宮城県本吉郡南三陸町志津川字本浜町108番地
TEL.0226(46)2442 FAX.0226(46)6200

FISHERIES
BUSINESS

水産
事業

世界に誇る最先端の工場設備による 高付加価値化の取り組みで、新たな販路を開拓

「海の恵みをおいしく、食品の安全と安心を食卓にお届けする」という理念のもと、衛生・品質管理に万全を期し、原料の生鮮出荷から高次加工まで一貫して対応できる高品質で多種多様な製品を取り揃え、お客様のニーズにお応えします。

取扱商品区分



味へのこだわり

三陸の「海」の恵を受けて、水産加工を軸に美味しい感動をつくりだす。味へのこだわりが、「食」を通じて人びとの心身ともに健康で豊かな生活に貢献します。

他分野の発想力を結集した能力あふれる製品づくり

魚のある食卓の提案で人びとの健康な食生活に貢献したい

「旬」を感じるホテル仕様の質沢な味わいをご自宅で

三陸の豊かな海が育む魅力的な水産物を世界ブランドへ



気仙沼ふかひれ濃縮スープ

さんまの甘露煮

製造工程へのこだわり

機械の導入により省力化省人化を図り、生産効率UPとともに安定した未来志向型の水産加工食品製造を行っています。

多様な規格ニーズに対応

消費者目線の細やかな仕上りを機械化で実現

鮮度を保持し高度な衛生基準を守った安全安心な製品づくり

震災を教訓に簡便性・保存性の高い商品づくり



気仙沼産水揚げ電圧丸一本釣りかつお さんま

気仙沼食品

気仙沼の水産物のシンボリック的存在として2014年完成。地上4階建ての工場は生鮮出荷から冷凍、高次加工まで多機能な水産食品生産ラインを完備し、お客様に鮮度抜群な魚介類をお届けします。さんま個人宅配の全国出荷は豊富な実績があり、ギフト対応の体制も万全です。工場冷凍庫の総庫容は1万3千トンで、魚種により鮮度保持に最適な温度設定（マイナス30～55℃）で保管しています。



気仙沼フレッシュ

2016年竣工稼働。カツオ・マグロ・カジキ類を主体に刺身、たたきなどの生鮮出荷、生食向け商品を製造。マイナス55℃の超低温冷凍車を併設し、生鮮及び冷凍カツオ・マグロ加工ラインを設置。アルコール冷凍装置を採用し、旬の魚のおいしさをそのまま高品質な状態で凍結することが可能です。原料及び製品の品質管理を徹底した生産販売体制でより安全な「マーメイドブランド」の生食用食品を提供いたします。



大船渡食品

大船渡港を望む北部工業団地の約45ヘクタールの広大な敷地に立地、2階建ての工場はHACCP対応施設として高度衛生管理が徹底されています。長年培った冷凍技術で長期保管にも徹底した温度管理体制を構築し安全な鮮度保持を実現。保税設置場の許可を取得し営業倉庫として、外国貨物の積卸を行うグローバルな対応を行っています。



南三陸食品

鮮魚の買付から冷凍冷蔵、加工に対応。魚類選別機で大きさを選別し、ベルトコンベアで運ばれるオートメーション化により、徹底した鮮度保持に努め、働く人の負担も軽減しています。安全安心な水産食品の生産に向け、万全の設備体制と職場環境を整えています。主力商材の養殖銀魚は南三陸が発祥地で、生産者と連携しながら積極的に地域資源のブランド化にも取り組んでいます。



渡冷

豊富な原料を生鮮・冷凍出荷から高次加工まで効率よい生産体制で衛生的かつ魅力ある水産食品づくりを実現しています。特に石巻特有「金華サバ」は真正なブランド基準をクリアした良質な原料を買付の確かな目利きで仕入れ、製造販売しています。



TOURIST
INDUSTRY

観光事業

太平洋の潮が香る深層天然温泉と 三陸の魚介で存分におもてなし

浜へ行く旅。潮の薫り。心を癒す、海の懐懐・海のおもてなしで、心も身体もリラックスできる寛ぎの空間をご用意。
従業員一人ひとりがホスピタリティの実践を心がけ、お客様にご満足いただけるサービス提供に向けたCS向上に努め、
地域資源に対する理解を深め、その魅力について情報発信を積極的にを行い地域観光振興に尽力いたします。



温泉

コバルトブルーの
大海原を望む
深層天然温泉

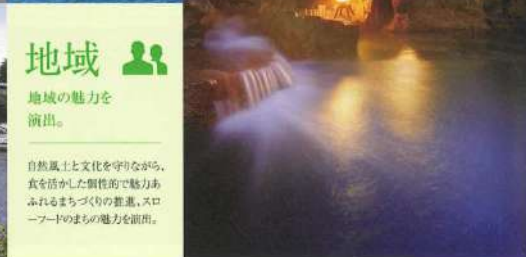
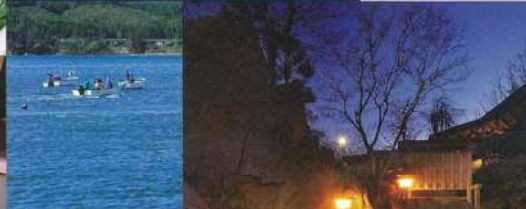
コバルトブルーの海が時間と共に景色を変える太平洋を眺め、深層天然温泉に身をひたす旅のひととき。潮を撫でる海風、雄大な太平洋の波音に、目を閉じれば水音をたためたような心地良さで包まれます。



食

旬のものをそのままに。
四季折々の料理で
おもてなし

世界屈指の「三陸漁場」から、毎日水揚げされる新鮮な魚介類を使用した豊かな食を提案。季節にこだわった郷土の名物の「魚のすりばき」気仙沼産「ふかひれの安魚」など海の恵みが凝縮された一品一品を、心ゆくまでお楽しみください。



地域

地域の魅力を
演出。

自然風土と文化を守りながら、
衣を活かした個性的で魅力あふれるまちづくりの推進、スローフードの魅力を演出。



南三陸ホテル観洋



南三陸温泉

地下2,000mから湧き出る深層天然温泉



観光客と地元住民の「観光交流」の推進など、地域活性化を推進する活動が各分野から評価されています。優れたホスピタリティによるトリップアドバイザー社「エクスセレンス認証」認定、南三陸キラキラ井シワーズの「フードアクション・エンvironmentアワード」など各賞を受賞。

サンマリン気仙沼ホテル観洋



気仙沼温泉

地下1,800mから湧き出る深層天然温泉



気仙沼魚市場から車で3分の高台に位置し、大規模な会議やイベントなど、多様なレセプションに対応しています。活気あふれる港町の見学や早朝市場の視察など、地域産業を観光と結び付けた体験型プログラムを整備し、地域観光資源の造成・育成に努めています。

気仙沼プラザホテル



気仙沼温泉

地下1,800mから湧き出る深層天然温泉



気仙沼湾を一望できる高台にあり、隣接する「気仙沼お魚いちば」とはシースルーエレベーターで結ばれ、気仙沼市中心部にも近く、ビジネスや観光に便利な立地です。地域社会・行政と連携し、教育・研修旅行の受入を積極的に防犯学習の環境整備を推進しています。

自社商品の販売



旬の魚の美味しさを、ご家庭でも気軽に楽しんでいただけるよう、
阿部長グループ関連の店舗にて自社商品 マーメイドブランドも販売しております。

地域とともに

語り部バスツアー 「学びと体験・体感」

東日本大震災の教訓を活かした防災・防災への取組事例を紹介する語り部バスツアーを運行。従業員が語り部として市内の観光地を巡りながら、被災体験をもとに被災当時の状況や教訓を伝えています。



外国人観光客の積極受入

外国人旅行者向けにタブレット端末を活用した観光案内、多言語ガイドを推進しています。



託児施設「マリンパル」

子育てをしながら働く従業員をはじめ市民向けに乳幼児の託児施設を設け、地域の福利厚生面にも貢献しています。官職専任者より「仕事と家庭の両立支援部門」で表彰されました。



ビジネスアイデアの発信、地域の集いの場として場所を提供

さわやかな眺望と日差しがゆらめきを生む会議室。宿泊利用だけでなく、ビジネスシーンや地域の方の集いの場としてご利用いただけます。



※会議室（一部）

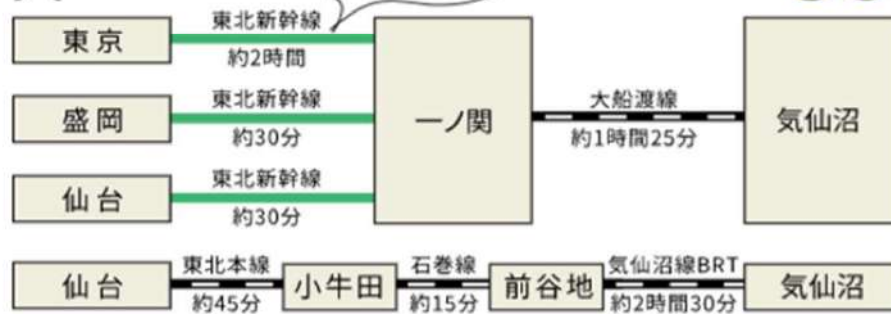
Access 気仙沼へのアクセス



気仙沼市
観光キャラクター
「海の子 ホヤほーや」

列車で

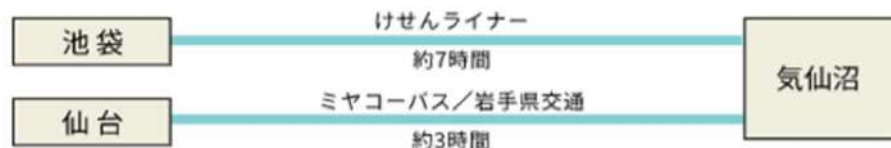
東京駅から
最短 **3時間半**



車で



高速バスで



気仙沼はどんなところ？

宮城県最北端、北上山地の南東部に位置し、気仙沼湾の湾口には緑の真珠と称えられる美しい島・大島を抱き、四季静穏な天然の良港を形成している。宮城県内陸部に比較して温暖な海洋性気候です。

面積/333.38km²
人口/62,601人
世帯数/26,416世帯



5/17～放送開始！

おかえりモネ

ヒロイン 永浦百音 (ながうら ももね) 役



清原果耶 (きよはら かや) さん

連続テレビ小説『おかえりモネ』

“朝ドラ”第104作は、
今を生きるすべての人に捧げたい、「現代ドラマ」です！

「海の町」宮城県・気仙沼で生まれ育ち、
「森の町」同・登米(とめ)で青春を送るヒロインが、
“気象予報”という「天気」にとことん向き合う仕事を通じて、
人々に幸せな「未来」を届けてゆく、希望の物語。

安達奈緒子さんの脚本による、オリジナル作品です。

2021年度前期 連続テレビ小説『おかえりモネ』

【放送予定】

2021年春

【制作スケジュール】

2020年秋ごろクランクイン予定

【主なロケ予定地】

宮城県気仙沼市 宮城県登米市 東京都

【スタッフ】

制作統括：吉永証 須崎岳

プロデューサー：上田明子 広報プロデューサー：川口俊介

演出：一木正恵 梶原登城 桑野智宏 津田温子 (ほか)

三陸海岸の旅 (仙台⇄松島⇄南三陸⇄気仙沼⇄平泉⇄花巻)

Living with the Ocean... 海と共に生きる



施設案内



～サンマリン気仙沼ホテル観洋～

- ・客室数全69室 収容人数333名
- ・大浴場 気仙沼温泉(泉質 ナトリウム-塩化物強塩泉)
男女各 内風呂・露天風呂 12:00～翌朝9:00
- ・会場 **大宴会場・大ホール「ベルサイユ」250名収容(2分割可)**
中宴会場「マリンビュー」120名収容(3分割可)
小宴会場8会場 和室6名～20名様収容(会場によって異なります)
コンベンションホール「サンライズ」洋室 150名収容(分割不可)
- ・売店 7:00～21:00
- ・送迎バス保有(気仙沼2館共有) ※営業用緑ナンバー取得
大型1台 マイクロ2台
- ・**ご希望があれば、レクリエーション会場、クラス毎ミーティング会場も準備いたします**



施設案内



～気仙沼温泉 気仙沼プラザホテル～

- ・客室数全65室 収容人数329名
- ・大浴場 気仙沼温泉(泉質 ナトリウム塩化物泉)
男女各 内風呂12:00～翌朝9:00
露天風呂12:00～25:00/5:00～9:00
- ・会場 大宴会場「鼎が浦」和室120名収容(4分割可)
中宴会場「早馬」和洋30名収容(2分割可)
小宴会場「亀山」和洋20名収容(2分割可)
コンベンションホール「飛天」洋室 200名収容(2分割可)
多目的ホール「ベイクリスタル」洋室 40名収容(分割不可)
- ・売店 7:00～21:00
- ・ご希望があれば、レクリエーション会場、クラス毎ミーティング会場も準備いたします
- ・お魚いちば 8:00～18:00(冬期17:30)
(気仙沼プラザホテルからエレベーターで直結)



気仙沼の「魚食」を お楽しみください！ ご夕食お献立例(成分表)

先付	鮪の卵ツブ山葵	メカジキの卵 ツブ 正油 砂糖 生姜 葱 カツオだし
造り	刺身四点盛	(予定) 鮪 白身魚 帆立 甘海老 正油(大豆・小麦)
蓋物	ハーモニカの煮付	メカジキ いんげん 正油 砂糖 生姜 葱 カツオだし
洋皿	鮪カツ 生野菜	びん長鮪 卵 小麦粉 パン粉 生野菜
蒸物	茶碗蒸し	鶏卵 カツオだし 正油 塩 味の素 アミノ酸 蒲鉾 銀杏 椎茸 みつ葉 鶏肉
食事	白飯	国産米ひとめぼれ
椀物	フカヒレスープ	筍 椎茸 鶏肉 フカヒレ 正油 ポークエキス ごま油 卵 ガラスープ オイスターソース オニオンエキス 塩粘材
香の物	二品	
水菓子	フルーツ	季節のフルーツ2種

※両館共通のメニュー案内になります
 ※季節、仕入れ状況によりお献立は変更します
 ※アレルギーについては個別対応しております

ご夕食イメージ



ご朝食会場



※コロナ感染対策のため、現在は和食セットメニュー
 対応となっております。

教育旅行用に**特別なお刺身**をご用意します！

(※ 2021年度より～)

宮城県海洋総合実習船

宮城丸



※参考記事

2020年1月18日（河北新報より記事引用）

宮城県石巻市の宮城水産高（生徒340人）と気仙沼市の気仙沼向洋高（355人）の生徒計34人を乗せた県の海洋総合実習船「宮城丸」（650トン）が17日、石巻市の石巻漁港を出発した。約2カ月間、米ハワイ沖で航海技術やマグロはえ縄漁などを学ぶ。

乗船式で宮城水産高の滝田雅樹校長は「一回り大きくなって帰ってくると期待している」と激励。実習生を代表し同校2年辻中一樹さん（17）が「水産・海洋関連産業を担う人材に成長できるよう頑張りたい」と決意を述べた。

実習船は27日にハワイ南西海域の漁場に到着し、2月20日までマグロはえ縄漁を操業。ホノルルに寄港後、3月13日に気仙沼港、14日に石巻港でそれぞれ水揚げを行う。



この実習船で生徒たちが捕ってきた マグロ刺身をご用意します！



～ 持続可能な開発目標 (SDGs) とは ～

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際開発目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

SDGs目標④には「質の高い教育」が位置づけられており、SDGsを見据えつつ、学校や地域で足元の課題解決を大事に、ESD※1を推進していくことが重要と考えられています。

※1 ESD = 持続可能な開発のための教育

これまでの学習指導要領は「何を教えるか」

これからは...

【何ができるようになるか(目的)】

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性などの涵養

【何を学ぶか(内容)】

新しい時代に必要となる
資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や
目標・内容の見直し

社会に開かれた
教育課程

【どのように学ぶか
(手法)】

主体的・対話的で深い学び
(アクティブ・ラーニング)の
視点からの学習過程の改善

気仙沼で学ぶことのできるプログラム①

SDGs目標 ⑪⑬ 防災(減災)学習



2011年3月の東日本大震災で被災した気仙沼をフィールドとし、語り部から当時の話しを聴く、伝承館や美術館などで当時の被災状況を目で見て肌で感じて学ぶ「命の学習」。

現地研修例(場所) ※詳細は以降のページ参照

- ①バスでの語り部 ②ホテルでの講話 ③気仙沼市東日本大震災伝承館 ④リアスアーク美術館
⑤命のらせん階段



<得られる体験・学び・意識醸成>

- ・近年の異常気象から自然災害が多発している日本において、あらゆる自然災害から身を守る意識を醸成(いつ、どこで発生するかわからない。今は関係なくても進学や就職や結婚などで将来関係するかも)
- ・**今後30年以内に発生すると予測されている「南海トラフ沖大地震」に備える意識醸成(発生確率は70～最大80%と発表されている。2035年±5年との発表もある)**
- ・命の大切さ、大切な人(家族・友達など)を守る、助け合う力 = 人間力、生きる力を養う
- ・人の心の痛みを感じる心を養う
- ・最後にみんなと共有しあうことで、更に知見が広がる

様々な専門知識を持った語り部ガイドが、「海と生きる気仙沼」の今を伝えます。防災教育旅行や視察に是非ご活用下さい！！

気仙沼震災復興語り部



さあ、みんなで気仙沼のごどかだっべし！！

気仙沼震災復興語り部とは

2011年3月11日、午後2時46分に発生した東日本大震災により、三陸沿岸部は未曾有の被害を受けました。そんな被害を乗り越えて逞しく生き抜く人々の様子を話す団体を結成しました。

講師陣として、行政経験者、避難所管理者、仮設住宅住民、ホテル社長、寿司職人、元消防長、住職・神主、自治会長など多種多様な構成メンバーとなっており、市全体が丸となって気仙沼の今を伝えます。

1 震災に係わる様々な説明が可能です

30名を越える、様々な職種、震災を体験をした語り部が、専門の知識や経験を生かして、被災時やその後の対応、そして復興へと向けた歩みを説明します。



元消防長が語る防災学習。



甚大な被災をうけた地福寺の住職。復興へと向けた取組を語る。



市内最大の避難所責任者が当時の対応を語る。

2 講演、バスの中で、現地案内などスタイルを選べます

時には会場を貸し切って、またバスの中で・・・etc. 視察や旅行のスタイルに合わせて、様々な方法で語り部ガイドをすることが可能です。



現地での案内



講演
*出前での講演も可能です

3 気仙沼全地域を使ったコースを作製できます

リアス式海岸の風光明媚な唐桑半島。東北最大の有人離島である大島。塩田としての歴史が深い階上。海と山の恵み豊かな本吉。そして、日本有数の漁港である歴史ある気仙沼の内湾地区。

このすべてのフィールドを使って、バリエーション豊かなコースを作ることが可能です。

モデルコース

①内湾視察コース (1時間)

内湾地区

かつては魚市場があった気仙沼の歴史深い地域。気仙沼大島への客船の発着所がある。現在、被災した登録文化財の修復が進められている。



*上の写真は震災直後の画像です

魚市場周辺

現在の漁業の中心地。加工場や冷蔵庫、製氷工場など水産業に係る様々な施設があったが、その大部分が被災により更地になっている。



鹿折地区

内湾の奥にあり、津波に続く火災の被害が大きかった地区。現在は回収・解体されたが、当時は多くの大型の漁船が打ち上げられていた。



②内湾～階上 or 唐桑半島視察コース (2～3時間)

内湾視察コースから

唐桑地区

三陸復興国立公園の南端に位置し、複雑な海岸線が特徴的なリアス式海岸の地区。津波石など津波に係るスポットが点在している。

階上地区

かつては伊達藩御用達の塩田があった地域。現在は、水産関係高校の校庭が互継処理場になり、24時間瓦礫の処理を行っている。

③震災総合学習コース (3時間)

内湾～階上 or 唐桑半島コースから

唐桑地区

ビジター・センター津波体験館
唐桑半島の自然や暮らし、津波の歴史などを展示するほか、スクリーンに映し出される映像と共に、音響や振動を駆使して、東日本大震災の脅威を体感できます。*体験館は有料となります。

階上地区

リアス・アーク美術館
震災発生直後から当館の学芸員が取材してきた約3万点に及ぶ記録写真の一部と被災資料に解説を加え展示しています。

④大島体験学習・視察コース (1泊2日)

大島地区

緑の真珠といわれる東北最大の有人離島。体験学習等の教育旅行の受け入れが活発に行われている。

一日目(午後) 島の学校で体験学習

二日目(午後)

内湾視察



※ 要望に応じて様々なルート構築が可能です。
教育・視察旅行のご要望に合わせますのでご相談ください

料金 ※十名様以上の団体様からの対応となります。

教育旅行対象 (高校生以下) 2,000円 (1時間) ~
一般団体対象 3,000円 (//) ~

連絡先: 気仙沼観光コンベンション協会

TEL 0226-22-4560 FAX 0226-22-9280



ホテルでの語り部(約60分)

被害が大きくなってしまった考えられる原因

- ・油断(自分は大丈夫だろう...)
- ・家族が家族を心配しての行動
- ・記録、撮影による避難遅れ
- ・広範囲に広がってしまう火災 など

あなたの町で今後「想定」される 災害と対策は？

※今回の東日本大震災の被害額は約16兆円と推計されています。
今後想定される東京直下型地震が発生した場合、想定被害額は約100兆円、南海トラフ地震では約220兆円とも試算されており、東日本大震災以上に復旧は困難な状況になる予想です。
今のうちにできる対策を、地域それぞれで考えましょう。





2011年

今現在



気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館

(震災遺構気仙沼向洋高校旧校舎)

(1~2時間)

階上地区にある「気仙沼向洋高校旧校舎」。ここは震災当日まで生徒達の学び舎として使用されていました。しかし、2011年3月11日に発生した東日本大震災の津波により校舎は4階床上まで津波により浸水、そこにあった生徒達の思い出は一瞬にして無くなりました。

その思い出の詰まった校舎は、「気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館」として生まれ変わりました。

この施設は、最初に伝承館で映像・画像をご覧いただいた後に震災遺構である校舎内へ移動、その後伝承館に戻ってくるというコースをたどります。校舎内は、語り部をつけることも可。安全に移動していただく為に見学ルートの整備、体の不自由な方でもご見学できるようにエレベーターを設置した他は震災時の姿をほぼそのまま残しています。

入館料:一般600円 / 高校生400円 / 小・中学生300円

※30名以上の団来料金は各100円引き





東日本大震災を災害史、災害文化の視点から考えるための
様々な資料を常設展示

2011年3月11日から約2年間に亘り学芸員独自調査記録資料(被災現場写真203点・被災物155点)その他歴史資料等137点、資料総数約500点をご鑑賞いただけます。

★★生徒たちに一番響いた言葉★★

これらは『ガレキ』ではない。『被災物』なんだ。。。

※瓦礫(ガレキ)=価値のない物、つまらない物という意味も持つ

観覧料:一般500円 / 大学・専門学校:400円 / 高校生300円
小・中学生150円 ※20名以上の団来料金は各50円引き

(約1時間)



震災伝承施設（震災伝承ネットワーク協議会登録認定：事務局・国土交通省東北地方整備局企画部）

（株）阿部長商店 ホテル観洋創業者宅（気仙沼市・内の脇地区）

地域住民を救った「命のらせん階段」



気仙沼市・南三陸町はじめ大船渡市、石巻市で水産業と観光業を営む株式会社阿部長商店。創業者であり、会長の阿部泰兒氏は気仙沼市内の脇地区にあった本社兼自宅に東日本大震災の5年ほど前、後付けの工事ではせん式の外階段を取り付けました。

内の脇地区は高台の避難場所も遠く、すぐには逃げられない地域のため、この地区の高い建物だった自宅の屋上に住民が避難する目的で階段を取り付けました。

3回ほど地域住民の方々と避難訓練も行っていた結果、当日は約20名が屋上で大津波から命を守ることが出来ました。

阿部泰兒氏は自身が1960年5月のチリ地震津波で多くの人命が失われ、そして東日本大震災で繰り返された悲しみをもう2度と繰り返したくないという気持ちで震災の教訓を語り継ぐため、自宅を震災遺構として残すことを決断しました。自助・共助の教訓として、命を守ることの大切さを伝えるためにこの場所は多くの方に訪れていただき、さらに伝え広げていける場所になることを願っています。

★岩手県においては、陸前高田市に高田松原津波復興祈念公園の整備を進めており、公園内には国営追悼・祈念施設と一体で「**いわてTSUNAMIメモリアル**」と「**道の駅高田松原**」が設置されました。



高田松原津波復興祈念公園に整備する国営追悼・祈念施設(仮称)は、犠牲者への追悼と鎮魂、震災の教訓の伝承、復興への意志の発信の場として、広田湾から津波がさかのぼった気仙川へと至る「祈りの軸」を中心に、7万本の松のうち1本だけ残った「奇跡の一本松」、復旧される重点道の駅「高田松原」、震災遺構「タピック45」、海岸防潮堤等と一体となった空間として、式典空間や広場等を整備します。



三陸鉄道

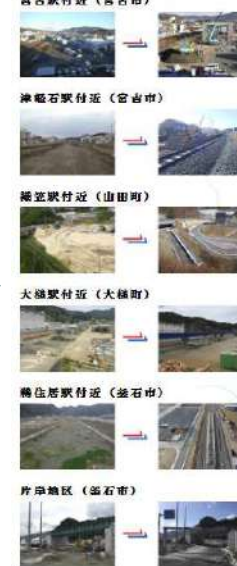
東日本大震災で不通となったJR山田線の宮古～釜石間(55.4キロ)は復旧、第三セクターの三陸鉄道(本社・宮古市)に移管され、「リアス線」として運行を再開しました。
この復旧工事が完成し、これまで南北リアス線の2つに分かれていた三陸鉄道は一本につながりました。

「震災学習列車」も好評価を得ています。



釜石～宮古間 (旧JR山田線)

平島で見える復旧状況 ※写真をクリックで拡大できます



写真：JR東日本 盛岡支社 設備部、東北工務事務所

(一例紹介) 防災・減災ワークショップ



各グループごとに、被災地での学びを振り返り、共有し合い、**帰省してから何を学んだか、何をするか・できるか**を**考える「場」と「時間」**が大切である。学校へ戻ってからもいいと考える。それを文化祭等で発表する学校もあり。

気仙沼で学ぶことのできるプログラム②

SDGs目標 ⑫⑭ 海洋教育(豊かな海を守る)・食育



資源が豊かな三陸漁場を目の前にする気仙沼。四季を通じ様々な魚介類が水揚げされる気仙沼魚市場の見学や、湾内での養殖漁場体験を通じ、生産者から生の声を聴き、漁業や海洋資源の保全について学ぶ。

現地研修例(場所) ※詳細は以降のページ参照

- ①気仙沼魚市場見学 ②ホテルでの講話 ③養殖漁場体験 ④ちよいのぞき気仙沼(水産業体験)

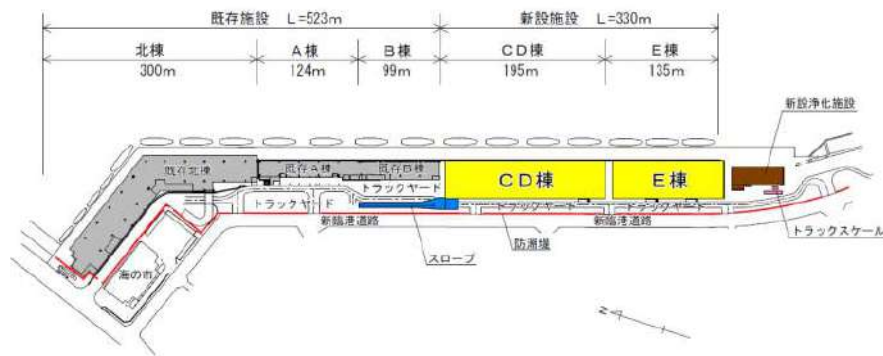


<得られる体験・学び・意識醸成>

- ・海洋と人間の関係について理解が深まる
- ・海洋環境の保全の大切さ、保全を可能にする知識、技能、思考力、表現力を養う
 - 海に親しみ、知り、守り、利用する知識を得る
 - (現在、海洋ではプラスチックごみなどによる海洋汚染が大きな問題となっています)
- ・第一次産業者への感謝の気持ち、食への感謝の気持ち、意識を醸成
- ・水産業を支える様々な仕事現場を見る事で、魚の水揚げから流通の過程を知ることができる

研修例①気仙沼魚市場見学(時期・人数・時間は要相談)

Living with the Ocean... 海と共に生きる



気仙沼魚市場

(体験時間 約1時間)

全長約1キロの新気仙沼魚市場へ！

高度衛生管理型の新魚市場。水揚げや荷捌き・入札など魚市場の仕事を見学することができます(人数により対応不可もあり。要相談)。魚市場内には気仙沼の水産業の魅力を発信する情報発信センターも併設。その他、キッチンスタジオの施設もあり、料理教室などの体験学習やイベントも開催可能。





例) 夕食で魚料理を食べながら、遠洋マグロ漁船(漁)の漁法や船上生活、魚食の大切さなどのお話し。
「気仙沼の魚を学校給食に普及させる会」出張講演
※遠洋マグロ漁船の船主さんです
(体験時間 30~40分程度)



体験場所: 気仙沼市唐桑町

気仙沼湾内で養殖されている牡蠣や帆立の生育方法など、実際に養殖筏まで行き見学させてもらうことができます。

生産現場を生産者の方から直接見せてもらい、お話を聴く事で、食への感謝の気持ちが育まれることでしょう。

生き帰りの漁船ではウミネコの餌付けもでき、楽しい思い出づくりも。

(体験時間 2時間~3時間)



気仙沼の基幹産業である水産業を支えるさまざまな「仕事場」を体験プログラムにしています！



平成29年観光王国みやぎ
おもてなし大賞受賞！！

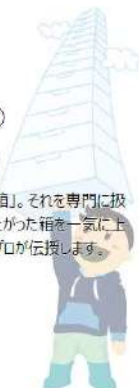


函屋探検

アクティブ度：★★ なるほど度：！！！！

高さ8mの箱を持ち上げる姿が圧巻！

気仙沼から全国へ魚を配送するのに欠かせない「箱」。それを専門に扱う函屋ならではのワザに迫ります！天井まで積み上がった箱を一気に上げ下ろし。バランスを取るのが難しい図持ちの技をプロが伝授します。



氷屋探検

アクティブ度：★★ なるほど度：！！！！

マイナス10℃の巨大冷凍庫に潜入！

魚の鮮度を保つのに欠かせない「氷」。普段は見ることができない巨大氷を作る工程を見学します。見学後は、マイナス10度の冷凍庫の中に入ったり、氷を切ったり、かき氷を食べたり…。氷屋の仕事現場に潜入します！



漁具 芸人！？と遊ぼう！

アクティブ度：★★ なるほど度：！！！！

漁の種類だけ「漁具（ぎょぐ）」がある！

音殖から遠洋漁業までそろった気仙沼には、魚を獲るために知恵と工夫にあふれた道具がいっぱい。漁に使うマニマニな道具から、包丁やシェールカッターなど一般の人の暮らしにも使える道具まで。漁具の不思議を解説しながら、実際に使って食べて、体感していただきます。



魚市場復興物語

アクティブ度：★★ なるほど度：！！！！

魚市場の見学や、震災からの復興過程の解説など

気仙沼市魚市場は、東日本大震災で大きな被害を受けながら、わずか3か月で復旧を遂げました。素早い復旧が実現した背景には、関係者のたゆまない努力がありました。現在の魚市場を見学しながら、語り部さんがそのドラマを紹介。市場がお休みの日には、「裏側」ものぞけるかもしれません。

※各料金はお問い合わせください 27
(体験時間は各プログラム約1時間程度)



塩づくり体験

気仙沼の階上地区はかつて仙台藩御塩場として塩づくりが盛んに行われていた場所でした。その歴史をふまえて、海水を使ったミネラル豊富な自然塩づくりに挑戦します(昔の製法とは異なります)。体験終了後、できあがった塩はお土産として持ち帰ることができます。

体験料 @500円



超低温冷蔵庫体験

気仙沼魚市場で水揚げされた魚は、基本的には鮮魚で出荷されることが多いですが、加工品の原料としての魚も多く水揚げされます。

その原料となる魚を鮮度良く長期で保存するためにマイナス50℃にもなる超低温冷蔵庫での保管をしています。

弊社工場の**マイナス50℃の冷蔵庫**の中に入り、その寒さを体験できます。

体験料 要相談



宮城オルレ(唐桑コース)

気仙沼市唐桑半島の先端にある唐桑半島ビジターセンターから、三陸復興国立公園の代表的な景勝地である巨釜(おおがま)・半造(はんぞう)まで。スタート地点を出発して海岸に沿って歩くと、東日本大震災の際に海底から打ち上げられた巨大な津波石が見られます。

おおよそ37年の間隔で大きな津波の被害に遭っているこの地域は、自然災害に対する防災教育と防災システムが整えられているのが特徴。津波によるつらい経験をしながらも、海と共に生きてきた長い歴史のなかで「自然に逆らうことはできない」という考え方が培われてきたといいます。気仙沼・唐桑コースを歩くと、自然を畏れながらも海と共に生きる道を選択した人々の祈りが育てた独特の文化、そして、お互いを思う心に気づけるかもしれません。

総距離: 約10km

所要時間: 約4時間





★亀山山頂からの大パノラマ



★気仙沼大島大橋！大島へは車のままで！

気仙沼大島

(ホテルから車で約30分)

本州と気仙沼大島を結ぶ橋として気仙沼大島大橋が開通。「鶴亀大橋」の愛称でよばれるこの橋は、全国でも珍しい大型のアーチ橋です。

平成29年3月に大型のクレーン船により架橋の設置工事が進められ、中央部2700トンの橋げたを大型クレーンで吊り上げ、湾内を移動し設置作業が行われました。

現在では気仙沼湾の新たなランドマークとして、市内のいたるところから望めます。

大島では亀山山頂からの大パノラマ、夏休みには小田の浜海水浴場、大島最南端にある「龍舞崎」からはリアス式海岸らしい景観が楽しめます。

団体チャーター湾内クルーズ船(約50分コース)もご案内可能です(要予約)。



気仙沼内湾地区まち歩き

商業施設 **ないわん**

【迎(ムカエル)】【創(ウマレル)】

【結(ユワエル)】【拓(ヒラケル)】

- ・プラザホテルからEV降りてすぐ
- ・ホテル観洋から徒歩約10分

気仙沼内湾地区に完成した商業施設。その名も「ないわん」。

「サメ関連SHOPシャークス」では鮫グッズ等の販売、その他にも飲食店やカフェが数店舗入っています。大階段を降りて観光公園にて海を見ながらのんびりすることも出来ます。

漁船を眺めながら、まち歩きで港町風情を感じてみませんか。



完成イメージ図



気仙沼 海の市

気仙沼魚市場に隣設している観光施設で、1Fには物販店や飲食店が並び、魚市場から水揚げされた新鮮な魚介類やお土産購入が楽しめます。2Fには「シャークミュージアム」があり、震災の記憶やサメの博物館があり気仙沼の特徴を学べます。1Fの「氷の水族館」では、マイナス20℃の世界を体験できるのと合わせ、気仙沼魚市場で水揚げされる魚たちが氷の中で泳いでいます。

知ろう！
気仙沼の海と人、まるごと体感！

観覧のご案内

観覧時間	9:00~17:00
定休日	休館日 休館日に閉館ください
料金のご案内	大人(中学生以上) 500円
小学生	200円

※グループ10名様以上20名程度、お申し込みが条件。小学生以下は利用できません。



気仙沼 シャークミュージアム

気仙沼の海と人、まるごと体感！



学ぼう！
感じよう！

気仙沼は海の町。海と生きる町。世界三大漁場・三陸沖を舞台に気仙沼市では昔も今も海と生きる町。いつもたくましく人の漁網と豊かに海の恵みで繋がっています。そんな気仙沼を有名にしたのがサメ。気仙沼は気仙沼フカシの産地として世界に知られるようになりました。そう、気仙沼はサメと人と共に育んだ「サメの国」なのです。

気仙沼復興シアター
被災から立ち上がる気仙沼の今を映像でご紹介！

何より強い海との絆
気仙沼の町々までな衝動が襲いました。東日本震災です。この震災で生じた巨大津波は、気仙沼の人々から多大な被害を齎しました。しかし、気仙沼はともにもまきでるも雨。これらのちまたと仲良く暮らしてまいりたいのです。ここ「シャークミュージアム」には、ご紹介したちまたの思いがいっぱい詰まっています。

ジンベエザメのプロジェクションマッピング
全長4メートルの巨大模型と最先端映像技術に注目！

プロジェクションマッピングとは
くサメ博士のご紹介

お楽しみご利用の場合
公共交通機関をご利用の場合

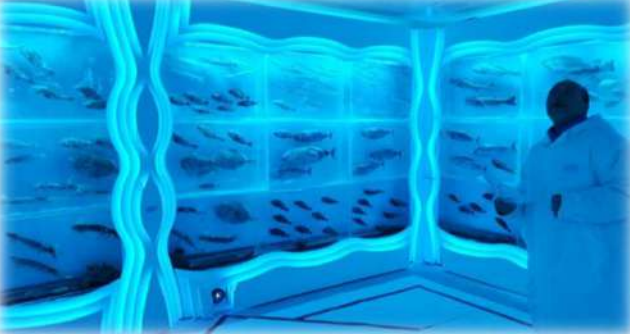


- アーカイブパネル**
震災から現在、そして未来に向けての多岐な視点から震災を振り返り、今を生きることに励むためのパネル。
- 気仙沼復興シアター**
被災から復興、そして未来へ向ける10分間の震災のシムレーション映像。震災の記憶から復興の現状と未来を、そして未来を語る。
- メッセージテーブル**
絆ゾーンに設置された未来から気仙沼に届くメッセージを閲覧していただき、メッセージが未来の気仙沼の未来に届くように、記録されています。

「海と生きる町」の今を、未来を体感!!



- ホホジロザメスーパーリアルオブジェ**
ホホジロザメの実物大模型でサメの大きさのイメージを伝えています。また、ホホジロザメの生態や繁殖についてわかりやすく解説します。
- サメ生態の秘密**
サメの生態やサメの生態を詳しく解説。最新の科学的な視点からサメの生態について詳しく解説します。
- ジンベエザメスーパーリアルオブジェ**
全長4m、最大のジンベエザメの模型をリアルに再現！最新映像技術「プロジェクションマッピング」でサメの生態や繁殖の様子をリアルに再現します。
- サメの生態マップ**
「世界中にサメはいくら？」、日本を代表するサメの生態、サメの生態や繁殖の様子をリアルに再現。最新の科学的な視点からサメの生態について詳しく解説します。
- ダイブトークシアター**
300万年前に生きたという巨大なサメの生態や繁殖の様子をリアルに再現。最新の科学的な視点からサメの生態について詳しく解説します。



「氷の水族館」

4つのゾーン

人と未来を輝かせるのご案内

- ゾーン1 「絆」ゾーン**
皆さんと気仙沼を結ぶゾーン。皆さんからのメッセージを気仙沼に向けて発信します。
- ゾーン2 「震災の記憶」ゾーン**
震災被害の状況や気仙沼の今、そして「未来に向けての思い」を映像でご紹介します。
- ゾーン3 「海と生きる」ゾーン**
震災被害から復興し、再び活気を取り戻した気仙沼の海と漁の今をお伝えします。
- ゾーン4 シャークゾーン**
サメ研究の権威、北海道大学名誉教授 伴谷一宏先生監修で「サメの不思議」をお紹介します。

2021年3月6日開通した気仙沼湾横断橋により、
三陸自動車道仙台市～宮古市区間が開通し、三陸沿岸のアクセスが大変良くなりました。

2021年内には、仙台市～八戸市までの「復興道路」が全線開通します。

※気仙沼から南下する際の最寄IC＝気仙沼港IC（ホテルより約10分）

※気仙沼から北上する際の最寄IC＝気仙沼鹿折IC（ホテルより約10分）





**気仙沼で
お待ちしております！**



サンマリン

 **気仙沼ホテル観洋**

 **気仙沼プラザホテル**

教育旅行営業担当 兼 気仙沼プラザホテル 支配人
支配人 堺 文明(さかい たけあき)

2011年1月から気仙沼プラザホテル支配人を務めています。

東日本大震災直後は、警察・メディア・工事関係者・ボランティアなど復興支援の方々受け入れをしていました。

復旧・復興が進むにつれ観光客受け入れ強化へシフトしていく傍ら、震災の教訓と気仙沼の魅力を発信する語り部活動をホテルスタッフとともに続け、気仙沼の観光・魅力づくり活動にも参加しています。

宮城県気仙沼市出身。1975年生まれ。

予約受付/問い合わせ専用番号 0226-22-1660 fax 0226-22-6665

(※ 堺が不在時には、予約部長 三浦まで)

mail : t_sakai@kesenuma-plaza.co.jp

その他、気仙沼の情報は

WEB 「気仙沼さ来てけらいん」で検索！